

浜松学芸高等学校芸術科〔音楽・電子音楽〕

第34回 定期演奏会

2015年10月2日(金) 18:00開場 18:30開演

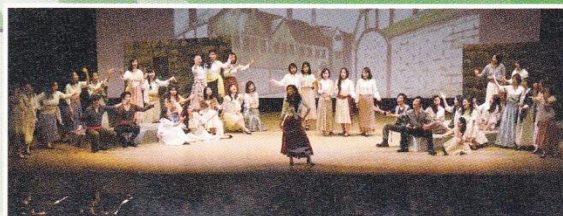
アクロシティ浜松大ホール 入場料500円

I OPERA

モーツァルト

「フィガロの結婚」ハイライト

指揮：宮本賢二郎



▲第33回定演オペラ「カルメン」より

II CONCERT

- クラリネット独奏 …………… 岩島紗穂(3年) ピアノ 加藤碧里(3年)
ロッシニ：主題と変奏
- ピアノ独奏 …………… 中野新奈(3年)
アルベニス：組曲「イベリア」第2巻第3曲 トゥリアーナ
- 合唱 …… 浜松学芸高等学校芸術科〔音楽・電子音楽〕合唱団
指揮 玉川昌幸
ピアノ 大杉汐里(3年) 加藤碧里(3年)

ノレストリーナ：善い羊飼いは復活された(Surrexit pastor bonus)
シューマン：流浪の民(Zigeunerleben)
木下牧子：春に(詩/谷川俊太郎)
ラポーゾ(玉川昌幸編曲)：Sing～シング～(日本語詞/星加ルミ子)
久石 譲(信長貴富編曲)：さんぽ(詩/中川李枝子)
アンジェラ・アキ(鷹羽弘晃編曲)：手紙～拝啓十五の君へ～(詩/アンジェラ・アキ)



主催／浜松学芸高等学校芸術科 音楽・電子音楽課程

後援／浜松市・浜松市教育委員会 (公財)浜松市文化振興財団 静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社

株ヤマハミュージックリテイリング浜松店 (株)河合楽器製作所浜松ショップ とぎわの会(浜松学芸高等学校同窓会)

【楽譜協力】トヨタミュージックライブラリー お問い合わせ 浜松学芸高等学校音楽館 TEL053-471-5338

入場券取扱い：アクロシティ浜松チケットセンターTEL451-1111/ヤマハミュージック浜松店 TEL454-2770/カワイ浜松ショップTEL455-0611

〔音楽〕〔電子音楽〕課程
実技相談会

第1回 12月5日(土)

第2回 1月9日(土)

中学生 管楽器ステップアップ講座(対象：中2、中3) 9月19日(土)

浜松学芸中学校 《第2回 入試レクチャー》 10月24日(土)

浜松学芸中学校・高等学校 《オープンスクール》 11月15日(日) 12月12日(土)

<http://www.gakugei.ed.jp/>

I OPERA

第1部「定期オペラ」では毎年、音楽・電子音楽課程の生徒、更に美術課程の生徒が協力して本格的な舞台制作に挑戦しています。今年の演目は、モーツァルトの傑作オペラ「フィガロの結婚」です。台本作家ダ・ボンテとモーツァルトがオペラ化したこの作品では、それぞれの登場人物が生き生きと描かれ、錯綜する展開に緊張と笑いが続きます。

ボーマルシェの原作は、平民が貴族をやり込める場面が多くあって長らく上演禁止になっていましたが、モーツァルトは人気台本作家ダ・ボンテと共に内容をマイルドにして、なんとか上演許可を得たのでした。とは言え、「フィガロ」はあちこちに貴族に対する辛辣な言葉が聞かれ、モーツァルトの民衆的な立場が伺えます。しかしこの作品の本質は貴族批判にあるわけではありません。舞台上に描かれるのは若者の憧れ、恋人たちの未来への希望、権力と所有欲、権力者への追従とあきらめ、純粋な愛といった様々な「愛」と「希望」の形です。それらが錯綜するストーリーの中でカタログのように並べられ、最後には「赦し」が全てを包み和解させる「究極の愛と希望」として描かれています。その「赦し」の瞬間に与えられた音楽は、暗雲から差し込む日差しのようにあり、この天上の響きこそ、本作品に不朽の名作としての輝きを与えているのです。



▲第33回定期演オペラ『カルメン』より

【あらすじ】 スペインのセビリア、アルマヴィーヴァ伯爵の館。ここで働くフィガロは女中スザンナとの婚礼に備え、新居の準備をしている。ところが、伯爵がスザンナを狙っていると知って憤慨する。スザンナの部屋で、騎士見習いの少年ケルビーノが伯爵夫人への憧れを語る。それを伯爵が見つげると、スザンナとの仲を疑い、ケルビーノに軍隊行きを命ずる。フィガロはそれをからかって歌う。場面は変わって伯爵夫人の部屋。夫人は伯爵の心が離れてしまったことを嘆く。スザンナとケルビーノが現れ、ケルビーノは夫人のために書いた詩を歌う。夫人は伯爵を手紙でおびき出し、自分がスザンナに化けてやり込めようと計画する。

紆余曲折を経て迎えたフィガロとスザンナの婚礼の日。スザンナは婚礼の囃子の最中に伯爵に手紙を渡す。伯爵はその際、手紙を閉じたピンで指を刺す。その様子をフィガロは見逃さなかった。そこに女中バルバリーナが困った様子で登場。フィガロとの会話の中で、伯爵がスザンナとの松の木の下での逢いを了承したことを話してしまう。計略を知らないフィガロは激怒する。母マルチェリーナに誤解だとなだめられるが、聴く耳をもたない。夜、庭園の松の木辺りでフィガロが隠れている。それを知りつつスザンナと夫人は計画を実行。しかしそこにケルビーノが現れ思わぬ展開に。思わず飛び出すフィガロ、しかし同時に伯爵が到着。スザンナと思込み夫人を口説く伯爵。一方でフィガロは夫人と思込みスザンナに必死に状況を訴える。大混乱の結末はいかに！

【出演】

伯爵夫人	杉田 莓 (3年)
スザンナ	池田真優 (3年)
フィガロ	富田夏行 (2年)
ケルビーノ	森本綾乃 (3年)
マルチェリーナ	川口海音 (3年)
バルトロ	堀内瑞樹 (2年)
バジリオ	青山 隼 (1年)
アントニオ	成瀬 奏 (3年)
バルバリーナ	鈴木 栞 (2年)
アルマヴィーヴァ伯爵	村瀬 諒 (助演・卒業生)
花娘	川端美菜 (2年)・彦坂礼美 (2年)
合唱	音楽課程生徒 (声楽、ピアノ専攻)、電子音楽課程生徒 (幼児・初等教育専攻)
オーケストラ	音楽課程、電子音楽課程生徒、卒業生、教員 (助演)

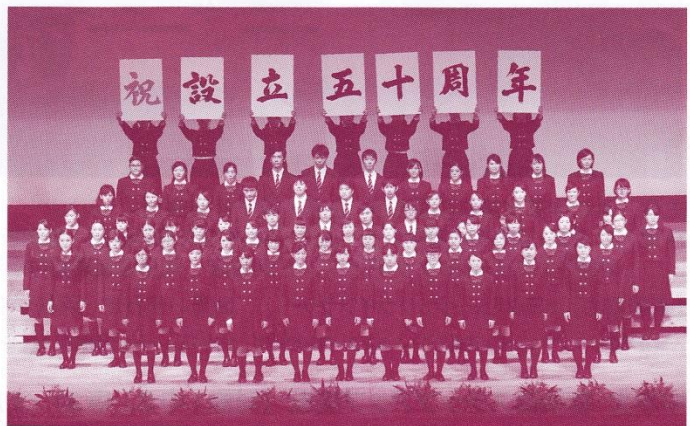
【舞台美術・背景画】 本校美術課程生徒

II CONCERT

第2部のコンサートでは、まずクラリネット独奏でロッシーニ (1792年～1868年イタリア) が「クラリネットと管弦楽のための変奏曲」と題して書いた『主題と変奏』の管弦楽をピアノに編曲した版で演奏されます。オペラ作曲家として知られているロッシーニの初期の作品で旋律美に溢れた作品です。

引き続きピアノ独奏でアルベニス (1860年～1909年スペイン) 晩年の最高傑作である全12曲からなるピアノ曲集「イベリア」より、第2巻 第3曲『トゥリアーナ』(セビリアのフラメンコに触発された舞曲) が演奏されます。

そして演奏会の最後は生徒全員の合唱で締めくくられます。今回は、様々な時代の異なる地域の音楽、《16世紀イタリアのその時代の最高の作曲家とされているバレストリーナの作品》、《19世紀ドイツロマン派シューマンの作品》、《現代日本の合唱曲》、《現代ポピュラー音楽の編曲作品：①1970年代に世界的に活躍してカーペンターズのヒット曲、②スタジオ・ジブリのアニメのための曲、③アンジェラ・アキが中学生の合唱コンクールの課題曲として書いた曲》を選曲しています。



▲設立50周年 第33回定期演奏会より